

2013 年度論文テーマ 「イメージ」を考える

「えっ！ こんなことがあるのか！」「こんな切り口があったか！」

私たちが論文を読むときに期待するものは、じつを言えばこの驚きとの出遭いです。そしてさらなる願望は、みなさんの論文に「なるほど！」と唸り、「これは参った！」と説得されたいというものです。突拍子もないことを思いついてしまうみなさんのやわらかい、変てこな脳は、そのような可能性を秘めた宝箱だと言えます。その宝箱を、ぜひ論文という知的生産のために開けてみませんか。

【応募資格】

慶應義塾大学 学部在籍中の1年生・2年生（応募は単著に限ります）

【賞】

最優秀賞 1名（賞状および賞金10万円）

優秀賞 若干名（賞状および賞金 5万円）

よい論文を書くためには以下の点に留意して下さい。

独創性

- (1) 自分独自の主張がある
- (2) 論題への切り込み方や問題設定の視点などがユニーク
- (3) 読者の好奇心に訴える工夫がある

具体性

- (1) 問題設定が具体的
- (2) 主張や仮説の論拠が具体的
- (3) 抽象論に終始しない
- (4) 文章表現が具象的

明証性

- (1) 論理展開に誤謬がない
- (2) 論文の構成が明確で読みやすい
- (3) データや資料・文献の典拠が全て明示されており、遡及が可能
- (4) 自分の意見と他者の意見が明確に区別されている

1. 執筆要領

1) 原稿の体裁

ア) MS-Word などの標準的なワープロソフトを使用し、A4用紙に作成してください。

横書き・縦書きの選択は自由です。

イ) フォント、行数等の指定はありません。

- ウ) 8000 字程度（日本語）にまとめ、参考文献リストをつけること。但し、文献リスト、注、図表などは文字数に含みません。
- エ) 最初のページに、氏名・ふりがな・学部・学科・学年・学籍番号・普段使っているメールアドレス・電話番号および論文タイトル(サブタイトルを含む)のみを記入してください。
2 ページ目には、論文タイトル（サブタイトルを含む）のみを記入して下さい。3 ページ目以降の論文本文には、氏名や学籍番号等の情報は記入しないようにしてください。
- オ) 最初のページから通し番号で、各ページの下部にページ番号を振ってください。
- 2) 参考文献、引用等について
- ア) 引用や要約をする場合は、必ずその都度、出典（参考文献や参照資料の名称、頁番号など）を明示してください。さらに、引用した文献はすべて、末尾の参考文献リストに挙げてください。また、インターネットからの引用の場合は URL とその取得日も記載してください。
- イ) 引用の仕方、参考文献リストの書き方がわからない場合は、論文の書き方の書籍に書かれていますので、それらを参考にしてください。
- ウ) 引用を明記しないで、他人の文章を転載すると剽窃になります。

2. 論文提出の様式、提出先等

1) 受付期間

11 月 28 日（木）・11 月 29 日（金）

※これに間に合わない場合は受け付けられませんので厳守してください。

2) 様式

本コンテストでは①電子データと②紙原稿の両方を必ず提出してください。

①電子データ

ファイル名：ronbun+学籍番号としてください。（例 ronbun11106700.doc）

電子データの送付先：ronbun-lib@adst.keio.ac.jp

※電子データは締め切り日当日中に事務局で受信したものまで有効。

②紙原稿

電子データと同じ内容を A 4 用紙（片面）に印刷して、ホチキス留めして、窓口へ期限内に提出してください。

紙原稿の提出窓口【窓口閉室時間】

- 日吉 : 来往舎 1 階受付【16:45】
- 三田 : 南校舎地下 1 階学生部内レポートボックス【16:45】
- 湘南藤沢(総環) : A 館 1 階学事担当窓口【16:50】
(看護) : 看護医療学部校舎 1 階事務室【16:50】
- 信濃町 : 孝養舎 1 階学生課学事担当前レポートボックス D【17:00】
- 芝共立 : 1 号館 1 階学生課(学事担当窓口)【17:30】

※紙原稿の提出は各キャンパスの窓口の開室時間内とします。郵送の場合は、下記の事務局宛に 11 月 29 日（金）必着とします。

学生論文コンテスト事務局（教養研究センター内）

住所：〒223-8521 横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学教養研究センター

電話番号：045-566-1151 メール：ronbun-lib@adst.keio.ac.jp

ホームページ：http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/ronbun/

3. 注意事項

1) 二重投稿の禁止

提出する論文は、授業等の課題レポート・論文として提出されていないものに限り、また、他のコンテスト、雑誌、電子ジャーナル、学会等、公の場に未投稿、未発表のものに限ります。

2) 剽窃（盗作）の禁止

他人の著作物の文言を注記なく自分の論文に取り込む行為は剽窃（盗作）とされ、著作権法に抵触する行為となります。また近年インターネットの普及によりネット上に研究論文が発表されており、これをコピー&ペースト（多少の手を加えたり、アレンジしたり）して論文を作成、提出するケースも見受けられますが、この行為も剽窃（盗作）となります。

◎以上の行為が発覚した場合、審査結果発表前、発表後にかかわらず当該論文は失格とし、悪質な場合は、より厳正な措置をします。

4. その他

* 事前登録はありません。

* 著作権は著者に帰属するものとします。

* 入賞作のタイトル、および入賞者氏名・学部・学年を公表させていただくことをご了承ください。

また、入賞論文は教養研究センターのホームページに掲載させていただきます。

* 応募者対象にアンケートを別途実施します。審査には関係ありませんが必ず協力してください。

以上